

スコアレで学ぶと言う事 (2018年合格の体験記)

スコアレで学ぶという事は、法律の勉強をする事です。その本来の目的は、もちろん社労士試験で合格する事です。が、必ず合格した後にも役立つスキルとなっています。

勉強の仕方～5月まで

テキスト中心、講義中心がもちろん基本です。問題集を解く時も、最初は必ずテキストと、講義中にとったノートがとなりてありました。自分1人で問題を解いていたって、間違えたらくやしいし、正解だったらうれしいものです。しかし落ち込まず、喜ばず、なぜ正解したのか、なぜ間違えたのかを考え、テキストと解説を照らし合わせ、問題の論点と根拠を、必ず確認するクセをつけるように意識しました。正直、時間ばかりかかって焦ることもありました。5月のおわり頃を目途として、自分なりの解説を作れるようになるまで、2種類の問題集とテキストとの間を何往復もしました。選択式問題はとても苦労しました。1点不足で足切りもありました。私なりの勉強方法としては、過去問はまず、選択肢をまったく見ずに考えてみるやり方です。テキストを読む時は、選択の穴になりそうな箇所をイメージしながら読むことで、白書の読み込みにメリハリが付き、結果として記憶に残りやすい読み方ができたと思います。

6～7月

この時期は、スコアレの答練の問題が更に増えているので、択一・選択共に問題集と同じことを何度か繰り返しました。そして、一番迷いが生じた時期でした。同じ問題を繰り返すより、見たことのない新しい問題集を買ってやった方がいいのではと、あせりの中で考えたりもしました。私は迷いを断ち切り、答練の問題を繰り返しました。あれこれ手を出すより、テキストと問題の往復が大事との平尾先生の教えを信じました。平行して2冊の問題集はスピードを意識することも行いました。とばし読みをすることの多かった私は、注意深く読みながら読むスピードを上げる練習もしました。

8月

8月は体調管理にひたすら気をくばり、無理せず、リラックスしてテキストを読んでいた。この1年の勉強した事を自信の根拠にして、少しおちついてすごしました。その時に役立ったのが、1年間、問題集を勉強した時に使ったノートの束でした。勉強の成果を見てはっきりと自覚できる様に、びっしりと書き込んだノートは、いつも目につく場所に積んでおきました。

さいごに

法律を読み、理解して、試験対策として問題を解く力にするのは、1人ではとてもできる事ではありません。スコアレで私はその勉強をさせていただきました。とても貴重な経験をさせていただいたと思います。ありがとうございました。